

ローマ 1 黙想質問

毎日、神の御言葉に触れる時間に、次の質問に答えましょう。これらの質問は、聖書の学びを通してイエスの弟子として成長することに集中するのに役立ちます：

- A. イエスから何を学びましたか。イエスは、私に何を語っていますか。
- B. 今日、私はどのようにイエス様に従いますか。
- C. この学びを通して、私はどのようにイエス様のようになれますか。

ローマ 1:1-12

パウロの挨拶と祈り

1 神の福音のために選び分けられ、使徒として召されたキリスト・イエスのしもべパウロ、2 ――この福音は、神がその預言者たちを通して、聖書において前から約束されたもので、3 御子に関することです。御子は、肉によればダビデの子孫として生まれ、4 きよい御霊によれば、死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。5 このキリストによって、私たちは恵みと使徒の務めを受けました。それは、御名のためにあらゆる国の人々の中に信仰の従順をもたらすためなのです。6 あなたがたも、それらの人々の中にあって、イエス・キリストによって召された人々です。――このパウロから、7 ローマにいるすべての、神に愛されている人々、召された聖徒たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたの上にありますように。

黙想質問：パウロは、自分についてと自分の働きとをどのように考えていたでしょうか。

黙想質問：パウロは、ローマの信者についてどのように描写していますか。

8 まず第一に、あなたがたすべてのために、私はイエス・キリストによって私の神に感謝します。それは、あなたがたの信仰が全世界に言い伝えられているからです。9 私が御子の福音を宣べ伝えつつ霊をもって仕えている神があかししてくださいますが、私はあなたがたのことを思わぬ時はなく、10 いつも祈りのたびごとに、神のみこころによって、何とかして、今度はついに道が開かれて、あなたがたのところに行けるようにと願っています。11 私があなたがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでもあなたがたに分けて、あなたがたを強くしたいからです。12 というよりも、あなたがたの間において、あなたがたと私との互いの信仰によって、ともに励ましを受けたいのです。

黙想質問：パウロはなぜローマの信者を訪ねようとしたのでしょうか。彼の交わりに対する考え方と理解はどのようなものだったのでしょうか。

ローマ 1 黙想質問

ローマ 1:13-17

福音：グッドニュース、良き知らせ

13 兄弟たち。ぜひ知っておいていただきたい。私はあなたがたの中でも、ほかの国の人々の中で得たと同じように、いくらかの実を得ようと思って、何度もあなたがたのところに行こうとしたのですが、今なお妨げられているのです。14 私は、ギリシヤ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のない人にも、返さなければならない負債を負っています。15 ですから、私としては、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。

黙想質問：パウロは信者に宛てて手紙を書いて、「私はローマにいるあなたがたにも福音を告げ知らせたいのです」と言いました。パウロは何を言いたかったのでしょうか。すでにイエスを信じた信者が、なぜ福音を必要とするのでしょうか。

16 私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。17 なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる。」と書いてあるとおりです。

黙想質問：キリストの福音を恥じる人がいるのはなぜでしょう。パウロはなぜ恥じなかったのでしょうか。

黙想質問：福音がなぜ「救いのための神の力」なのか説明してください。誰がこの救いを受けるのですか。

黙想質問：次の言葉は何を意味しますか。「福音において、神の義は信仰から信仰へと明らかにされる。」そして、「義人は信仰によって生きる」。

ローマ 1 黙想質問

ローマ 1:18-32

悪い知らせ／バッドニュース

18 というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。19 なぜなら、神について知りうることは、彼らに明らかであるからです。それは神が明らかにされたのです。20 神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。

黙想質問：なぜ神は人類に怒りと裁きを注がれるのですか。なぜ彼らには弁解の余地がないのでしょうか。

21 というのは、彼らは、神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなったからです。22 彼らは、自分では知者であると言いながら、愚かな者となり、23 不滅の神の御栄えを、滅ぶべき人間や、鳥、獣、はうもののかたちに似た物と代えてしまいました。

黙想質問：神に感謝することを拒む人々はどうなるのでしょうか。

24 それゆえ、神は、彼らとその心の欲望のままに汚れに引き渡され、そのために彼らは、互いにそのからだをはずかしめるようになりました。25 それは、彼らが神の真理を偽りと取り換え、造り主の代わりに造られた物を拝み、これに仕えたからです。造り主こそ、とこしえにほめたたえられる方です。アーメン。

26 こういうわけで、神は彼らを恥ずべき情欲に引き渡されました。すなわち、女は自然の用を不自然なものに代え、27 同じように、男も、女の自然な用を捨てて男どうしで情欲に燃え、男が男と恥ずべきことを行なうようになり、こうしてその誤りに対する当然の報いを自分の身に受けているのです。

黙想質問：人間に何が起こったのでしょうか。彼らはどんな選択をしましたか。神はどのような決断を下したのでしょうか。

ローマ 1 黙想質問

28 また、彼らが神を知ろうとしたがらないので、神は彼らを良くない思いに引き渡され、そのため彼らは、してはならないことをするようになりました。29 彼らは、あらゆる不義と悪とむさぼりと悪意とに満ちた者、ねたみと殺意と争いと欺きと悪だくみとでいっぱいになった者、陰口を言う者、30 そしる者、神を憎む者、人を人と思わぬ者、高ぶる者、大言壮語する者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者、31 わきまえない者、約束を破る者、情け知らずの者、慈愛のない者です。32 彼らは、そのようなことを行なえば、死罪に当たるという神の定めを知っていながら、それを行なっているだけでなく、それを行なう者に心から同意しているのです。

黙想質問：28 節に「神は彼らを良くない思いに引き渡され」と書いてあります。それは、歪んだ不品行な墮落した思いという意味です。善悪を区別できない状態です。それは、現代の社会にどのように見られますか。